

はちまんたい議会だより

ギカイのひろば

No. 84

2026年(令和8年)
7月23日



ナニヤトヤリ 盆踊り

— 荒屋地区振興協議会 —

主な内容

- 6月定例会…………… P 2
- 一般質問（8人）…………… P 5
- 政務活動費収支報告…………… P 11
- 委員会活動報告…………… P 13
- 特集記事…………… P 14

6月定例会

●会期 6月15日～6月23日(9日間)

補正予算や柏台保育所閉所撤回と存続に関する陳情を可決



6月定例会議案採決(議案第5号)

今回は	
報告	3件
市長提出議案	6件
請願	2件
陳情	2件
議員提出議案	1件

【議案第5号】令和8年度八幡平市一般会計補正予算(第2号)

9521万円の増額補正予算可決

歳入、歳出それぞれ9521万2千円を増額し、総額190億4890万7千円とするもので主な歳出は次のとおりです。

- ▼社会福祉施設整備事業
2039万4千円(増額)
- ▼生活保護扶助費
1481万8千円(増額)

Q 民生費の社会福祉費は、社会福祉施設整備事業の地域介護・福祉空間整備等事業費補助金2039万4千円である。この補助金は、介護施設の防災、減災の改修予算とあるが、市の負担内容、この改修事業は、どのような改修をするのか伺う。

A この補助金は全額が国からの補助となるため、市の負担はない。個別の施設名は回答を控えるが、市内のグループホームと小規模多機能

Q 民生費の生活保護費について、生活保護扶助費1481万8千円の増額補正は、平成25年の最高裁判決を踏まえた金額であると説明があったが、歳入には1111万3千円とある。この差は市の負担となるのか。

A 令和8年の支給分については、国の補助は4分の3で、残りの4分の1が市の負担となる。

Q 教育費の中学校費について、統合中学校建設事業の西根中学校敷地測量業務委託料1146万2千円の増額補正は具体的にどのような内容になるのか。

A 今後予定している基本設計業務において、基本計画時から精度の高い検討ができるように、地形条件などを把握するために実施する測量業務になる。座標値の基準点や現地工作物を含む平面測量といった内容となる。

【請願第1号】八幡平市における大規模風力発電事業に関する住民説明の適正化を求める請願書

風力発電事業の住民説明会適正化を

請願趣旨

(請願者Ⅱ八幡平の自然と人をつなぐ会 山本さとみ他3名) 現在(仮称)鹿角上沼風力発電事業(鹿角市)、(仮称)鹿角東部市民ウィンドファーム事業(鹿角市)をはじめとする大規模風力発電事業が計画中である。しかし、計画地に最も近い田山、兄畑地区において、事業者が開催した説明会への参加者は実質ゼロである。説明会は平日昼間のみ開催で農業従事者・就労者が参加困難な設定であり、多くの地域住民が計画の存在すら知らないまま進んでいる現状は、環境影響評価法が求める住民参加の趣旨を著しく損なうものである。また、計画地近接の花輪鉱山からの有害物質も懸念される。八幡平市長は令和7年に「瀬ノ沢川などへの水質の影響がないこと、および事業化後の景観について関係する住民への説明を行うこと」と意見を提出した。事業の賛

否を問うものではなく、計画の内容リスクなどを知り、意見を述べる機会を公平に保障することを求める。

▼総務教育常任委員会の審査結果

不採択とすべきものと決定

本請願は、大規模風力発電事業の実施にあたって、住民説明会の適正化を求めることを主旨とするものである。常任委員会として、事業進捗に伴う不安から、より丁寧な説明を求めるという請願者の心情や懸念には一定の理解を示すものである。しかしながら、「説明会の参加者が6名という実績があること」「説明会は日曜日に開催したという実績があること」など、請願内容の一部に事実との相違や記述の不備が見受けられたところである。また、現段階において「市内での事業実施が確定されていないこと」「事業実施にあたっての調査段階であること」から、今後、事業が具体化され実施される過程に至れば、法手続き上の説明会開催が求められる。これらを総合的に勘案した結果、本請願を採択することとは困難であると考ええる。

■本会議決議結果 不採択

【請願第2号】免税軽油制度の継続要望に関する請願書

本市基幹産業へ悪影響を及ぼす懸念

請願趣旨

(請願者Ⅱ(株)岩手ホテルアンドリゾート代表取締役CEO 黄思麗他1名) 冬季観光産業の重要な柱であるスキー場産業の発展に貢献してきた軽油引取税の課税免除の特例措置が、令和9年3月末で廃止される状況にある。この制度は、道路を走らない機械に使う軽油を免除する制度で、船舶、鉄道、農林業など、幅広い事業の動力源の用途に認められてきたものであり、この制度がなくなれば索道事業者は大きな負担増を強いられ、経営維持が困難となり、地域経済にも計り知れない影響を与えることになる。国へ意見書提出を請願する。

▼産業民生常任委員会の審査結果

採択すべきものと決定

免税軽油制度の廃止によって、スキー場産業にとどまらず、本市の基幹産業である農林業や観光業

能事業所を含めて、3カ所を予定している。内容については、エアコンの設置と非常用電源の設置を予定している。

Q 民生費の生活保護費について、生活保護扶助費1481万8千円の増額補正は、平成25年の最高裁判決を踏まえた金額であると説明があったが、歳入には1111万3千円とある。この差は市の負担となるのか。

A 令和8年の支給分については、国の補助は4分の3で、残りの4分の1が市の負担となる。

などの経営にも大きな負担増を強いることとなり、地域経済へ計り知れない悪影響を及ぼすことが懸念される。

■本会議決議結果 採択

【陳情第2号】岩手ホテルアンドリゾートに関する陳情書

安全保障など条例による規制整備を

陳情趣旨

(陳情者Ⅱ吉岡貢) 安比総合開発(第三セクター) 当時(昭和50年代から平成20年代のころ)に取得した市内の土地の範囲を公表するとともに、外資系法人(親会社を含む)による土地利用が地域の安全保障・環境・景観・水資源に影響を与える可能性を踏まえ、条例による規制整備を求める。

▼産業民生常任委員会の審査結果

不採択とすべきものと決定

安比総合開発(株)が取得した市内の土地の範囲の公表は、企業の正当な利益を害するおそれがない

▼産業民生常任委員会の審査結果

採択すべきものと決定

いか見極めが必要。個人情報保護の観点からも配慮が求められる。また、外資系法人による土地利用が地域の安全保障などに影響を与える可能性を踏まえ、条例による規制整備を求めることについては、その懸念は理解できるものの、自治体が単独で外国人の土地取得を制限することは、憲法や法律、国際条約に抵触する可能性が非常に高く、自治体独自の条例制定は困難であり、国の動向や現行制度の内容を把握したうえで、その必要性について検討するべきである。

■本会議決議結果 不採択

【陳情第5号】柏台保育所の閉所撤回と存続に関する陳情書

柏台保育所閉所について十分協議を

陳情趣旨

（陳情者＝柏台保育所をみんなで守る会代表 鈴木瑠美子）柏台保育所の閉所決定について、撤回し同保育所を存続するよう陳情する。

免税軽油制度の継続を国に要望する

免税軽油制度が、地方税法の改正に伴い、令和9年3月末で廃止される状況にある。免税軽油制度は、軽油引取税（1リットルあたり32円10銭）を免除する制度で、農業用機械や鉄道、船舶、製造業、倉庫、港湾での荷役用途車両など道路を使用しない車両、機械燃料用の軽油について免税が認められてきたものである。令和8年4月から暫定税率は廃止となったものの、本則課税（1リットルあたり15円）は継続されることとなる。本市においても、索道事業者が使うスキー場のコース整備のためのグレンデ整備車、人工降雪機、管理車両の軽油について申請に基づき、免税が認められており、大きな援助制度となっていたものである。この制度がなくなれば、索道事業者は大きな負担増を強いられ、スキー場の経営維持が困難になるとともに、当市の地域経済や市民スポーツ振興などにも計り知れない悪影響を与えることとなる。よって国においては、免税軽油制度が継続されるよう強く要望するものである。

令和8年第2回定例会 賛否の分かれた議案の採決結果

議員名 (会派名)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	議決結果
	鈴木 絵美 会	畠山 峰彦 会	田村とみ子 会	山口 朋文 改革推進クラブ	外山 一則 会	田村 正元 会	羽沢 寿隆 会	工藤 多弘 会	勝又 安正 会	北口 功 会	渡辺 義光 市民クラブ	工藤 直道 改革推進クラブ	古川 津好 会	高橋 悦郎 会	高橋 光幸 市民クラブ	工藤 隆一 会	関 治人 会	
議案名	八幡平市における大規模風力発電事業に関する住民説明の適正化を求める請願書	反対	反対	反対	反対	反対	反対	反対	反対	反対	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	不採択
請願第1号		反対	反対	反対	反対	反対	反対	反対	反対	反対	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	

※関治人議長は採決に加わりません

一般質問

質問した事項

勝又 安正 議員（八起会）……………05

- ・安代の森林振興と林業振興について
- ・学校での社会学習への取り組みについて

渡辺 義光 議員（市民クラブ）……………06

- ・郷土芸能の伝承活動と支援について
- ・投票率の向上と主権者教育について

北口 功 議員（無会派）……………06

- ・森林保全と森林バンクの活用について
- ・市政のDX化に伴う高齢者対策について
- ・防災・危機管理について

山口 朋文 議員（改革推進クラブ）……………07

- ・投票率低下と高齢化社会に対応した投票環境整備について
- ・道路区画線の維持管理と交通安全対策について

鈴木 絵美 議員（八起会）……………08

- ・八幡平市交流複合施設「8テラス」の運営体制および市民に親しまれる施設づくりについて
- ・柏台保育所の閉所方針と地域子育て環境の維持について

高橋 悦郎 議員（無会派）……………08

- ・第3次八幡平市総合計画前期基本計画について

工藤 多弘 議員（松西会）……………09

- ・観光振興について
- ・農業振興について

田村 正元 議員（八起会）……………10

- ・子育て支援と学校教育について
- ・社会基盤の維持、整備について
- ・観光振興対策と今後の振興計画について



かつまたやすまさ 議員
勝又安正（八起会）



問 森林環境譲与税を活用した森林施業の推進・森林の適正管理と持続可能な森林経営を推進していく具体的な取り組みは。

市長 森林整備事業費がさ上げ補助、森林経営管理意向調査支援業務委託や大更駅前顔づくり施設木製遊具

購入および木育キャラバン業務委託などに適切に活用し、市の林業振興を図った。

問 自然災害が多発する中山々にある多くの支流、本流に流れ込む川の現状把握と、管理、整備など行われているか。

市長 すべての把握は困難

でパトロールでの情報や市民からの通報などに基づき維持管理などを行っている。

問 「第81回スキー国体」が開催される。ジャンプ場などの危険な木々の早期撤去、確認作業を進めているのか。

市長 大会開催に向け準備を進め、安心、安全な大会

運営に取り組む。

学校での社会学習

問 労働に伴う災害、労働保険、年金や税金など、働く上で必要な知識、労働法を学ぶ教育についての考えは。

教育長 仕事に対する責任

安代の森林、林業振興

豊かな自然の環境整備



安代中から見る山々

感や生き方についての考えを深めている。学習指導要領を踏まえ、キャリア教育の充実を図る。

問 若いうちの政治参加に対する理解を深める教育は。

教育長 主権者としての資質、能力を育む教育の充実

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。



わたなべよしみつ
渡辺義光 議員



(市民クラブ)

地域の宝 郷土芸能団体

発表・継続・復活を支援



支援が望まれる大石平念仏剣舞

問 市指定無形民俗文化財は19件、旧3町村別では西根町8件、松尾村3件、安代町8件である。少子高齢化や地域活動の停滞などで後継者が不足し活動・伝承が難しい団体が多数ある。「地域の宝」郷土芸能の存亡の機である。支援策は。

市長 議員提案のDVDを15本制作し伝承活動や学習教材に活用している。各団体との情報交換会を再開し、実態調査する。発表の機会拡充や継承を広く支援する。**教育長** 児童生徒が文化や伝統を体験し地域への愛着を深めるよう育成に務める。

市議選挙の投票率
問 4月26日執行の市議選は初の女性議員誕生かと盛り上がったが58%の投票率で過去最低であった。投票バス巡回など環境整備に務めているが全体の投票率向上に結びつかない。評価は。

選管委員長 投票率は西根地区56%、松尾地区59%、安代地区66%である。選挙の争点、顔ぶれなどが投票率に影響するが、全国的に低落傾向である。市民の政治への関心と主権者教育が大切である。子ども議会は政治学習のよい機会である。

問 「馬を水辺に連れて行くことはできるが水を飲ませることはできない」のこゝろがある。投票行動に結びつくような市勢見学や郷土愛を育む教育の考えは。**企画総務部長** コミセン活動などを通じ地域の現状を学習し主権者教育につなぐ。



きたぐち いさお
北口 功 議員



(無会派)

森林バンク制度の設立

仲介役の役割に重点



伐採した後の山林 (松尾地区)

問 市内の新規大型太陽光発電計画は何力所あるか。**市長** 事前協議済計画4件、許可済計画2件ある中、大型施設は3件。

市長 国が進める森林経営管理制度の運用に向け森林所有者へ意向調査を実施している。**高齢者向けスマホ使い方冊子配布は**

で確認できるが、使いこなせる人と苦手な人の差を解消する取り組みとして、岐阜市が配布しているスマホの使い方ハンドブックの八幡平市版を作っているか。**市長** 岐阜市の事例を参考に、皆さまがデジタル化の恩恵を受けられるよう関係

各課と連携し検討する。**LPガス災害バルク導入の検討は**

金活用で経費の半額が軽減できるこの取り組みを統合中学校に導入してはどうか。**市長** 平成26年に荒屋コミュニティセンターに同システムを導入した。今後統合中学校の建設に向けた計画をする際に判断したい。



やまぐちともふみ
山口朋文 議員



(改革推進クラブ)

区画線管理と安全対策を

優先順位をつけ更新工事



劣化で消失したセンターライン

問 市内で劣化が進み消失もみられる区画線について、どのように把握し安全対策に取り組んでいるか。**市長** 道路、パトロールや市民からの情報により状況を把握している。交通量や学校周辺などを考慮し、継続的に更新工事を進める。

問 区画線の更新状況は。また、追越し禁止を示す黄色センターラインについて公安委員会との連携は。**建設課長** 区画線更新事業費は令和7年度は3131万円まで増額。黄色センターラインは警察へ情報提供し改善を要望していく。

問 学校周辺や交通量の多い路線では、区画線の劣化が安全面に大きく影響する。優先的な整備を求める。**建設課長** 交通量や周辺施設の状況を踏まえ優先順位を決定している。市道松尾線などについては今年度更新工事を予定している。

投票環境の整備
問 投票率低下について、年代による投票率の差をどう捉え分析しているか。**選挙管理委員会委員長** 年代別では60〜70代が高く、20〜30代の投票率が低い状況となっている。

問 若年層や現役世代の投票率向上のため、各SNSの年代別利用傾向を活かし、現役世代へ情報発信を強化してはどうか。**選挙管理委員会事務局長** SNSについて他自治体の事例を研究し、活用の可能性を検討していく。



鈴木 絵美 議員
(八起会)

柏台保育所閉所について

改めて方針を検討



閉所方針が示された柏台保育所

問 令和9年度閉所について、方針そのものを含めて改めて検討する考えは。
市長 説明が急で不安を与えたことを反省している。議論が庁内のみで保護者の意見を伺う機会がなかった。閉所時期も含め、意見交換を重ね、早急に結論を出す。

問 保育所は就労を支える基盤。閉所方針の決定前に保護者の意向は確認したか。
福祉部長 事前の意向聴取は不十分で一方的な伝達となった。署名や鈴木議員の行った保護者アンケートの内容を真摯に受け止め、改めて方針を検討する。

して、期待感を高めていく。
問 子どもたちが本に親しむ「読書おもいで帳（読書通帳）」の導入は。
教育次長 新図書館システムに導入。専用デザインの通帳を作成しブックスタート事業などで幼児に贈呈。親子での読書習慣につなげ

オープン前の8テラス情報

問 施設の魅力周知と利用促進に向けた計画は。

市長 サイトやSNSでの発信、移動型おもちゃ美術館設置などにより、子育て世代へ継続的に魅力をPR



高橋 悦郎 議員
(無会派)

400億円の財源確保は

各種基金と起債で確保



第3次総合計画を進める八幡平市

問 第3次総合計画前期基本計画が今年度から始まる。市の最大の課題である、若い人たちの転出をいかに減らしていくか、市長施政方針演述でも述べられている。例えば若者向けの住宅団地の整備には、今年度全く予算が付けられていないが。

市長 若い方々の転出を防ぎ定住を増やすには、若い方々の雇用の場確保を最優先にしたい。住宅団地の確保も同時進行だと財政的に厳しいと考えている。

問 新たな企業誘致の促進が必要として、GX産業団地の整備を進めるとして

るが。
産業建設部長 地熱発電などの脱炭素電源を活用したGX戦略地域として、国から認められると、建物や機械設備などの整備に対する支援が国から受けられる。国は5年間で2100億円の債務負担として予算措置

をし、立地してくる企業にも建物や機械設備に対して強力な支援ができる。
問 前期基本計画の総計画額は400億円を超え過去最高額となっている。財政調整基金残高は約17億円しかなく、賄えるのか。
市長 他の基金も活用する



工藤 多弘 議員
(松西会)



サウディンググ市場調査

3事業者から参加希望



休業中の岩手山焼走り国際交流村

問 岩手山焼走り国際交流村のサウディンググ型市場調査の目的と夏の施設の一部運営について伺う。
市長 同調査は、施設の活用方法について公募前に民間事業者から広く提案を求める対話手法である。現在3事業者から参加希望があ

り、夏の間に実際の施設をお試しで活用する「トライアルサウディンググ」も調整中である。活用の応募がない場合でも7月1日の山開きに合わせてトイレなどを利用できるよう配慮し、登山者の利便性を確保する。

問 中長期的な視点での工

リア運営や指定管理者の公募に対する考えは。
市長 市直営は困難であるが、エリア一体の安定経営と集客を進めるため、過去の事例にとらわれず中長期的な視点で運営を検討する。将来的に指定管理者を公募する際は、要件を満たすあ

らゆる団体に応募の機会を開いていく方針である。
問 農業振興について
市長 資材価格の高騰に対する市独自の支援や、減少が続く中小農家への対応策は、中東情勢などの影響で一部資材の納入が滞って

政務活動費収支報告(50音順)

1人月2万円 その使い道は

ここでは、令和7年度に各議員に
交付された政務活動費がどのように
使われたのかをお知らせします。
※各QRコードを読み取ることで、
より詳細な内容を確認できます。
※パソコンで閲覧する方は、市ホーム
ページの市議会ページ、「情報公開
と広報活動」の政務活動費からご
覧いただけます。

北口 功議員(無会派)	
交付額	220,000円
資料購入費	40,370円
返還額	179,630円

勝又安正議員(八起会)	
交付額	240,000円
調査研究費	114,640円
事務所費	750円
返還額	124,610円

井上辰男議員(八起会)	
交付額	240,000円
調査研究費	114,640円
資料購入費	1,420円
事務所費	750円
返還額	123,190円

工藤隆一議員(八起会)	
交付額	240,000円
調査研究費	114,640円
事務所費	750円
返還額	124,610円

工藤直道議員(自由クラブ)	
交付額	240,000円
調査研究費	213,303円
広報費	34,050円
資料購入費	1,420円
返還額	0円

工藤多弘議員(松西会)	
交付額	240,000円
調査研究費	216,774円
広報費	17,770円
資料購入費	1,420円
返還額	4,036円

関 治人議員(八起会)	
交付額	240,000円
調査研究費	114,640円
研修費	110,320円
資料購入費	15,770円
事務所費	750円
返還額	0円

齊藤隆雄議員(日本共産党)	
交付額	240,000円
調査研究費	204,860円
広報費	113,415円
返還額	0円

熊澤 博議員(自由クラブ)	
交付額	240,000円
調査研究費	213,633円
返還額	26,367円

議会の動き

(令和8年4月16日～7月7日)

4月

- ▶16日 議会広聴広報常任委員会
- ▶28日 岩手県後期高齢者医療広域連合監査(例月現金出納検査)、盛岡広域環境組合監査(例月現金出納検査)

5月

- ▶7日 会派代表者会議、事務連絡会議、
- ▶11日 会派代表者会議
- ▶12日 令和8年第2回臨時会(～13日)、議員全員協議会
- ▶13日 総務教育常任委員会、産業民生常任委員会、議会広聴広報常任委員会、議会運営委員会、市政調査会総会
- ▶19日 総務教育常任委員会協議会
- ▶20日 産業民生常任委員会協議会

6月

- ▶3日 盛岡広域環境組合議会議員全員協議会、臨時会
- ▶8日 議会運営委員会
- ▶12日 議会改革推進会議議員研修会
- ▶15日 令和8年第2回定例会(～23日)、議会広聴広報常任委員会
- ▶16日 産業民生常任委員会
- ▶17日 総務教育常任委員会
- ▶19日 議会改革推進会議
- ▶23日 議員全員協議会、議会運営委員会
- ▶26日 議会広聴広報常任委員会
- ▶29日 盛岡広域環境組合監査(例月現金出納検査)

7月

- ▶1日 岩手県後期高齢者医療広域連合議会議員協議会、臨時会、議員研修会
- ▶7日 議会広聴広報常任委員会

問 中学校統合について、保護者、住民の説明会で示された約54億円の建設費について、一般財源、国県支出金、市債、基金の内訳は現時点でどのように計画しているのか。

の補助金を30%から50%と想定しており、残りについては、学校教育施設等整備事業債(交付税措置のある借金を検討している。工事費該当年度では3億円の負担と合わせて、10億円前後が一般財源になると想定している。

校長会議など周知 6月15日の国会において、日本教職員組合の組織議員から、自衛隊に入隊する子どもがいる家庭を差別する発言があったが、八幡平市の教職員も同様の考えで教育しているのか。

教育指導課長 そのような実態はないが、仕事に対しての公平・公正な考えを改めて校長会議などで周知していきたいと考えている。

現状確認して検討 松尾総合運動公園グラウンドゴルフ場、田山パークゴルフ場は維持費の負担がされているが、市総合運動公園パークゴルフ場には負担がないのは、不公平ではないか。

文化スポーツ課長 現状の使用状況を踏まえて、今後検討していきたい。



たむら まさと
田村正元 議員
(八起会)

建設費約54億の市負担額
現時点試算で10億円程度



さまざまな課題がある建設予定地

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。

総務教育常任委員会協議会

■期日 令和8年5月19日
■場所 議事堂委員会室
■内容 総務教育常任委員会所管の令和8年度八幡平市予算に係る主要事業等についての研修会



議員の理解を深める協議会の様子

総務教育常任委員会は、市の総務、財務、学校教育、消防や生涯学習といった、市民生活や子どもたちの未来、日々の暮らしに関する議案の審議や調整を行う委員会です。5月19日には「令和8年度八幡平市予算に係る主要事業などについて」の研修会が開催されました。

市民の皆さまの大切な税金が、どのような事業に充てられ、正しく執行されているかを確かめる大切な場であり、事業の目的や予算の使い道など細かく説明を受け、深く学ぶことができました。

今後も市民の皆さまの声をしっかりと反映させながら、丁寧な議論を進め、より良いまちづくりにつなげてまいります。

産業民生常任委員会協議会

■期日 令和8年5月20日
■場所 議事堂委員会室
■内容 産業民生常任委員会所管の令和8年度八幡平市予算に係る主要事業等についての研修会



議員の理解を深める協議会の様子

産業民生常任委員会は、農林畜産業や観光、地域のお店や会社を元気にしたり、市民の健康や福祉、暮らしやすい環境を守るための大切な話し合いをする委員会です。

市がつくる新しいルールやお金の使い方をしっかり調べ、市民からの「こうしてほしい」という声の実現できるかどうか考えます。また、八幡平市商工会など地域のお店や会社で働く人たちから話を聞き、まちの課題を見つける活動もしています。

5月20日には、主要な事業の予算について学ぶ研修会を行い、背景や課題を整理しました。これからも学んだことを生かし、みんなが安心して暮らせるまちづくりを進めていきます。

高橋光幸議員（市民クラブ）	
交付額	240,000円
調査研究費	114,640円
返還額	125,360円

高橋悦郎議員（日本共産党）	
交付額	240,000円
調査研究費	204,860円
広報費	113,415円
返還額	0円

外山一則議員（八起会）	
交付額	240,000円
調査研究費	114,640円
研修費	73,520円
事務所費	750円
返還額	51,090円

羽沢寿隆議員（八起会）	
交付額	240,000円
調査研究費	114,640円
資料購入費	12,724円
事務所費	750円
返還額	111,886円

田村正元議員（八起会）	
交付額	240,000円
調査研究費	114,640円
事務所費	750円
返還額	124,610円

立花安文議員（八起会）	
交付額	240,000円
調査研究費	114,640円
資料購入費	1,420円
事務所費	750円
返還額	123,190円

渡辺義光議員（市民クラブ）	
交付額	240,000円
調査研究費	114,640円
資料購入費	98,082円
返還額	27,278円

山口朋文議員（無会派）	
交付額	120,000円
研修費	21,450円
広報費	46,100円
資料購入費	52,822円
返還額	0円

古川津好議員（松西会）	
交付額	240,000円
調査研究費	213,303円
広報費	17,770円
返還額	8,927円

交付額合計	4,180,000円
使用額合計	3,025,216円
返還額合計	1,154,784円

政務活動費とは

政務活動費は、地方自治法第100条第14項から第16項までの規定に基づき、議員の調査研究その他の活動のために必要な経費の一部として、交付されるものです。市では「八幡平市議会の政務活動費の交付等に関する条例」で基準を定め、申請に基づき議員1人当たり月額2万円を交付しています。また、年度ごとに精算し残額が生じた場合は、市へ返還することになっています。



令和8年6月23日の議員全員協議会の様子

8テラス開館日は8月8日（土）

令和8年6月23日の全員協議会において、八幡平市交流複合施設「8テラス」の開館について当局から説明がありました。開館当日は午前10時30分から太鼓演奏やテープカットなどの式典を行い、正午から一般開放する予定です。また、7月からはプレオープンイベントや施設ウェブサイトの公開、予約システムの運用を順次開始します。地元高校生による図書館資料の整理作業、保育園児や市職員を対象としたモニター利用、関係者向け内覧会などを実施し、運営体制を整えたうえで開館を迎えることが報告されました。



知ってほしいこと！お知らせしたいこと！

八幡平市議会 議員の研修は？



八幡平市議会での議員の知識や資質向上を目的にさまざまな研修を行っています。今回は、「議会改革推進」の一環として、青森大学の佐藤教授に「今一度『議会基本条例』の原点に立ち戻ろう」という表題で、SOUNDカードも用いてベテランから新人まで非常に前向きな研修ができました。

今後もさまざまな研修を通して、議会改革と議員の資質向上に努めてまいります。

議員研修を通じて考える議会の課題と今後の改善に向けた視点について（研修会講師）

6月12日の研修では「今一度『議会基本条例』の原点に立ち戻ろう」をテーマに、対話の補助ツール「SOUNDカード」を用いた演習や生成AIの活用についてお話ししました。演習では、議員の皆様が席を移動しながら自由に意見を交わし、議会の現状や課題について熱心に対話されている姿が印象的でした。市民の声に耳を傾け、議員間で活発に議論を深めることは、基本条例が目指す「開かれた議会」の実現に不可欠です。現在の八幡平市議会には、世代交代による新しい風や、議会改革をさらに進めようという前向きなエネルギーがあります。今回の研修で共有された熱意が、対話を深め、多様な視点を活かした信頼される議会づくりへとつながることを心から期待しています。

研修会講師プロフィール

さとう あつし
佐藤 淳 氏

青森大学社会学部
コミュニティ創生コース教授
1968年青森県十和田市生まれ。

- ・青森高校卒業。早稲田大学商学部卒業。
- ・さくら銀行（現三井住友銀行）入行、法人部門を中心に12年勤務後退職。
- ・日本社会事業大学専門職大学院福祉マネジメント研究科修了（社会福祉士）。
- ・早稲田大学大学院公共経営研究科修了（公共経営修士）。
- ・早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員（2025年まで）。

「人をつなぎ成長を支援し、笑顔で前向きに進む地域（チーム）を創る」を動詞の仕事に、地方自治体の人材開発、組織開発、地方議会改革、市民共創のまちづくりをテーマに探求を行う研究者、実践者として活動中。

研修を受けた議員の声

最年少議員の感想

すずき えみ
鈴木 絵美 議員
当選回数 1 回、48歳

対話を力に議会改革を前へ

研修を通して、議員間討議や委員会での議論を深めることの重要性を実感。より良い政策につながる議会を目指すためにも、多様な意見を尊重しながら議論を重ねるスキルを高めたいと思いました。生成AIの活用についても大変興味深く今後のためにも学びを深めていきます。

最年長議員の感想

わたなべ よしみつ
渡辺 義光 議員
当選回数 5 回、80歳

議会基本条例10年、課題と展望 議員の経験値＋AI活用で新展開

議員と語る会や広報で議会改革に取り組んで10年になるが、参加者の拡大や投票率の向上に結びついていない。市民参加の原点はシビックプライド（地域への誇りや愛着）が基本です。議員の経験値とAI（人工知能）を融合させ年長議員として新しい議会活動を目指します。

次は 9月定例会（予定） ※日程は変更になる場合があります。

期 日	内 容
9月8日(火)～11日(金)	議案上程、一般質問
9月12日(土)～13日(日)	休 会
9月14日(月)～18日(金)	議案審議、決算特別委員会
9月19日(土)～23日(水)	休 会
9月24日(木)～25日(金)	決算特別委員会
9月26日(土)～28日(月)	休 会
9月29日(火)	決算特別委員会
9月30日(水)	休 会
10月1日(木)	委員長報告 ほか

議会を傍聴しませんか

八幡平市議会では、本会議などを誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会開催日に市役所3階の議会事務局までお越しください。

開会時刻は一部を除き午前10時からです。終了時間は日によって異なりますので、詳しくは八幡平市議会のホームページをご確認ください。

議会の映像を見ることができます

八幡平市議会では、議会開催日に市役所本庁舎1階のテレビでライブ中継を行っているほか、インターネット（YouTube八幡平市議会のチャンネル）で録画配信しています。

令和8年6月定例会の視聴回数は923回です。

3月定例会の視聴回数は1,631回でした。
（令和8年7月7日時点）

クイズ

問 ○の中には、どんな文字（数字）が入るでしょう？

8テラスのオープン日は○月○日である。

■応募方法 答え、住所、氏名（ふりがな）、年齢、「ギカイのひろば」を読んだ感想、市政や市議会への意見・要望などを必ず記入の上、はがきやファクス、電子メールでご応募ください。正解者の中から抽選で5名の方に八幡平市共通商品券1,000円分をお贈りします（当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます）。

※お寄せいただいた個人情報は景品の発送以外には使いません。

■あて先 〒028-7397 八幡平市議会事務局 議会だより 係
FAX：0195-74-2105 E-mail：gikai@city.hachimantai.lg.jp

■しめ切り 令和8年9月4日(金)(当日消印有効)

■前回(No83)の正解 13(人)

応募者11人 正解者11人



議会のまど

えんどう かずお
遠藤 和男さん
(寺田 67歳)

運動会ってやっぱりいいネ！

「優しいね、小1、気遣う、運動会」

今年も昨年に続き行われた、寺田小学校・寺田地区合同運動会のことでした。1年生の女の子は初めての徒競走を終え最後の種目の全校生徒による赤組、白組対抗の徒競走も無事走り終わって、もうへとへと、そこへ高学年のお姉ちゃんたちが集まり、頭をなでなでしている。そんな光景を見て、運動会はやっぱりいいな～、一生懸命走っている子どもたちと、負けてくやしがっている子、そして小さい子を思いやる、お姉ちゃんたち、見ていた私も、心が洗われる思いの1日でした。

図

書館開館が8月に延びてしまい残念に思っています。早く本が読みたいです。
(山後・58歳女性)

色

付きのトレーもリサイクルできるのであれば回収したほうがいいと思います。
(山子沢・40歳男性)

女

性議員2人が1位と2位トップ当選おめでとうございます。今後の活躍に期待します。
(寄木・71歳男性)

—

般会計予算額の特に歳出について、市が何に力を入れようとしているのか分かるよう掲載してほしい。
(石神2区・32歳男性)



クイズで寄せられた意見などを紹介します。

熊

が出た場所の最新情報を防災無線でも知らせてほしい。皆がスマホで情報を得ているわけではありませ
(中間・40歳男性)

選

挙の時だけ頭下げて終われば知らないふりされるとはならないようお願いします。
(松川・72歳女性)

意

見の言える議会になるよう期待します。地域の皆さんの声に耳を傾けてほしいです。
(向村・71歳女性)

若

い議員さんが増えたので、今後の活躍に期待したい。
(山崎・41歳)

◆編集後記◆

議会広聴広報常任委員会は議会基本条例第7条(1)広聴活動として議会報告会を年1回以上開催する。(2)議会広聴広報誌を年4回以上発行するとあります。

市民に開かれた議会を実現するため、広聴では市民が集い一人一人が語りやすい場を提供し、広報では「知ってほしいこと！お知らせしたいこと！」シリーズの継続と見やすい紙面などに委員会として取り組みたいと思っております。

議会広聴広報常任委員会
委員長 勝又 安正

地区振興協議会の事業紹介



荒屋地区振興協議会会長

おおもり りきお
大森 力男 さん

荒

屋地区振興協議会では、毎年夏まつりの時に、伝統のナニヤトヤラ盆踊りを参加者全員で行っております。

荒屋なにやとやら太鼓保存会が先導し、輪になって「甚句踊り」「早踊り」を踊ります。

踊りを踊っている最中に数字を書いたカードを配り、終了後にお楽しみ抽選会を行っております。